

る事でありませう。

幼なき時、耳目に觸るゝ事物は、知らずゝの間に、柔かき腦裏にしみこんで、洗ひ度も、脱する事が、出来難くなりませうから、心身脆弱の時に、つとめて、善良なる習慣を養ひ度思ひませう。

斯様な事は、別段改めて、申す必要も、ないかとは思ひませうが、目下大切な事でありませうから、紙端を拜借して、斯くは記しました。

二葉幼稚園の現況

同園報告

幼稚園現在の状況

建物も去年の儘。保母は松浦氏相變らず御盡力で阿部氏は家事の御都合上お止めになり今は若い助手を二人頼んで居ります。病兒の取扱も従前通

り木澤敏先生に施療して頂きこれは誠に氣の毒と思つて居りますが病氣にはなる貧乏ではあり又してもゝ願ひ致して居ります。子供の貯金も去年の通り。クリスマスはいつも盛會を極め親の會家庭訪問も今迄の通りで別に變りはありません只多年の希望が漸く達せられましたので其事に全力を注いで居ります。現在の幼兒は四十五名で内男二十六女十九人

夏休の事

一昨年は他に先生をお頼み致しまして休なしに致しましたが先生の變りしたため結果よろしからず。昨年は日中を幼稚園の涼しい處でと思ひ午後に致しました處が午後になつて幼稚園へよこすといふ事は親達が大變に困るそうで子供は朝からどこへか遊びにいつてしまつてサアお晝になつたから幼

稚園へと思つてもどこへ行つてゐるやらさつぱりわからずそれを探して連れて來る程の親は少ない中には煙草の工場へ通つてる者等はとも出來ぬ相談さいて見れば如何にも尤の事であらう、それもお止め本年は三十日間お休にする事にしました何も經驗して見ねばわからぬものです此上は一人の先生で休なしに續けて頂くより外良法はありませぬ。

御料地拜借許可

毎年報告を書く度に地所を地所をと申しました、皆様には今も御盡力下さる方があらうと存じますが、四谷鮫ヶ橋に甲武線の直北に當つて貧民窟とは地續きの最適當なる御料地がありまして、今度とらう、無料拜借といふ有り難い御許可を得ました、これに就いては同地の直お隣りの松

平伯爵が、一方ならぬ御盡力を給はりました、其結果で御座いまして、私共は只感謝の涙より外申す一言もありません、どうぞ皆様お喜び下さいませ、四百餘坪の地所しかも貧民はすぐお隣りと思ふまゝに收容が出來ます、私共の多年の希望もかゝる成效を得やうとは豫期以上で、これからは少しでも多くの子供の世話の出來ますやうに建築に取りかゝりたいと思ひます、されば私共は此喜を感謝すると同時に一方では資金の不足募集の爲に極力皆様に願はねばなりません、どうぞ此上御同情の益々深からん事を切に祈ります、擴張すれば從つて毎月の經費も増加致す事になりますから定期御寄附の方をも一人にてもふえます様に御盡力を願ひます、余りに願ふ事許り多い様にも思ひますが、鮫ヶ橋に行つて見ますとちつとはして居ら

れません、それらを救ふてやりますには、皆様の
お力に頼る外ありませんから、どうぞ御盡力
を願ひ上げます。

私立仙臺幼稚園

この幼稚園設立の趣意及目下の状況は左の如し
趣意書

私立仙臺幼稚園設立ノ要旨左ノ通り

客歳二月暴露警懲ノ師ヲ興サレシ以來、陸ニ海ニ連戦連捷ノ戦
果ヲ收メタルハ、
至尊ノ御稜威ト忠勇義烈ナル將卒ノ奮勵トニヨルハ勿論ナレド、
平素我國民ノ本分トシテ幼時ヨリ忠君愛國テウ念慮ヲ涵養シタル
家庭訓育ノ効モ亦與テ力アリト信シラル、去レハ今回ノ日露
戦争ノ經過ニ鑑ミ、益々兒童教導ノ必要ヲ感シ、明治乙巳ノ戦役
紀念トシテ茲ニ本年四月一日萬歳ヲ排シ、自ら奮テ本園設立ヲ
企テ、拮据經營終ニ全年五月一日ヲ以テ開園式ヲ舉行致シタル
次第ナリ、然ルニ幸ニシテ本園設立ノ旨趣ハ世ノ歡迎スル處ト
相成リ、僅カニ二ヶ月ヲ經サルニ入園ノ幼兒九十名ニ達シタル
仕合セナリ、元來本園ハ時局柄奉公ノ万分ノ一ヲ裨補シ、將來大

戰捷國ノ健全ナル國民ヲ養成セントスルモノナレハ、出征軍人
ノ遺族若クハ事情アルモノニ對シテハ保育科ヲ裁額シ、又ハ全
ク無料ヲ以テ其旨趣ヲ貫徹セント努ム故ニ着々其趣ヲ擴充シテ
世ノ同情ヲ求メツ、有之、今ヤ漸次盛大ノ機運ニ進ミ設備ノ基
礎モ確立ノ期ニ向ヘリ、而シテ現時幼兒教導保育ノ任ニ當リ居
ル者ハ園長立花せん保母二名助手二名ニ之レアリ、
次ニ此寫眞ハ去ル六月帝國艦隊カ天佑ト東郷司令長官ノ奇譚妙
策トニ因リ、敵ノ波羅的艦隊ヲ日本海ニ殲滅シ大捷ヲ奏サレタ
ル當日ノ紀念ノ爲メ撮影致シタルモノニシテ、帝國海軍々人ノ
勇壯ナル行動ヲ永ク幼兒等ノ腦裏ニ印セシメンスル微衷ニ外ナ
ラス、

茲ニ本園幼兒ノ寫眞ヲ捧上スル際ニ其事由開陳云々

明治三十八年七月

私立仙臺幼稚園設立者

正八位 立花精一郎

立花 せん

雜報

東京保母養成所

去る四月開所せる全所は、先月廿三日卒業式を舉
行し卅五名の卒業生と、十七名の修業生とを出せ